

診療報酬改定要望に向けた実態調査

インスリン使用中の患者に対する遠隔モニタリングを用いた看護支援の調査へのご協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本学会活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたびは、標記調査へのご協力をお願いいたく存じます。本調査の目的は、令和4年診療報酬改定提案の検討に向けて、遠隔モニタリングを用いた看護支援の実態を明らかにすることです。調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、協力者への謝金等の準備はありませんが、結果については、ホームページでの速報、および学術集会、学会誌で報告する予定ですので、ご活用下さいますようお願いいたします。

記

1. 調査内容

- ・遠隔通信システムを用いたインスリン使用中の糖尿病患者への看護介入の実施内容、対象者、介入頻度、介入効果

2. 調査対象

医療機関に所属し、遠隔モニタリングを用いた看護支援に回答可能であり、調査に同意した者

3. 調査方法 Microsoft Forms で作成した WEB 調査

調査内容や倫理的配慮を了解し、「同意する」にチェックを入れたら、調査にすすむことができます。

4. 回答時間 5～15分

5. 調査期間 2021年4月5日（月）～2021年4月25日（日）

6. 倫理的配慮

- ・結果は、Microsoft Forms で自動集計された、（各設問、選択肢ごとの回答数の集計、自由回答の一覧）段階で研究者に渡り、研究者は回答者を特定できません。
- ・回答の途中で研究協力を撤回する場合、その時点で回答を中止して、回答を送信せずにそのサイトから離れることが可能です。
- ・回答送信後は、本調査への同意撤回はできません。
- ・自動集計機能を使用して結果を集計するので、回答者の個別の回答を研究者が見ることはありません。
- ・自由記載欄には個人名、組織名を記載しないようお願いいたします。もし自由記載欄に個人名、組織名の記載があった場合には、記号等で置換いたします。
- ・質問項目の回答データの送信時には、SSL 暗号化（Secure Sockets Layer）を行い、

通信情報の傍受・漏洩を防ぎます。クラウド上のデータは、調査終了後は削除いたします。

- ・クラウド上からダウンロードした結果が記録された電子媒体(CD-R 等)やファイルにはパスワードロックをかけ、分析担当者が鍵のかかる場所に保管します。
- ・研究グループ内でのデータのやりとりの際、インターネットを経由する情報暴露に対するセキュリティ対策を確実にを行うことを研究者間で周知徹底します。
- ・研究終了後のデータは、所属機関の規定に則り、5年程度、鍵のかかる場所に保管し、その後電子媒体は、修復不可能な状態に消去します。
- ・研究成果は学会発表および論文等として公表する予定です。公表の際には、個人名や所属機関名が特定されることは決してありません。

【お問い合わせ先】

本調査の責任者：餘目千史

日本赤十字北海道看護大学

TEL 0157-66-3396 (直通)

E-mail amarume@rchokkaido-cn.ac.jp